



イブニングセッションのワンシーン

ビジネスモデル学会の誕生は 2000 年に遡るが、イブニングセッションは学会のスピンオフ・プログラムとして 2012 年からスタート、講師お一人をお招きし、ビジネスの最前線を拝聴する場として計 26 回開催した。2016 年から平野新会長の下、学会全体の刷新を機に、新生イブニングセッションもフレームワークをリ・デザインさせて頂き、2019 年 10 月現在、20 回開催させて頂いた。ビジネスの最前線とアカデミアの最新理論の結合に資することを目指したイブニングセッションであるが、次回は 11 月 11 日に第 21 回「宇宙にくらす」を予定しており、詳しくは学会 WEB でのご案内をご参照ください。以下、本誌前号以後に開催された 2 回と開催予定の第 21 回の開催要旨について記録しておく。

回数	開催日	テーマ	登壇者（敬称略）	
19	7 月 26 日	ビジネスモデル・ビジュアルライゼーション	近藤 哲朗 株式会社そろそろ 代表取締役	小山 龍介 株式会社ブルームコンセプト 代表取締役

ビジネスモデルの議論はえてして、空中戦になりやすい。

それは、経営上のさまざまな要素が複雑に絡み合っているからである。たとえばユニクロのビジネス

モデルひとつとっても、高度な製造工程、新素材開発による商品開発、デザイナーやブランドとのコラボ、店舗運営、マーケティングなど、さまざまな要素が絡み合っており、ビジネスモデルを議論するのにどれひとつ欠かせない。こうした複雑な構造体を議論するための共通言語として、「ビジネスモデル・キャンバス」が開発され、多くの企業で採用されている。今回の登壇者である小山龍介は、ビジネスモデル・キャンバスを紹介した『ビジネスモデル・ジェネレーション』の翻訳者として、ビジネスモデル・キャンバスの普及啓発に取り組んでいる。

こうした流れと同時に、ビジネスモデルを図解して示す動きも出てきた。板橋悟によるピクト図解を使ったビジネスモデル図解や、今回登壇いただく近藤哲朗によるビジネスモデル図解シリーズなどがそうである。ビジネスモデル・キャンバスが構造の可視化であるのに対し、こうした図解は取引関係やカネ・モノ・情報の流れなどの、プレイヤー間の広義のコミュニケーション関係を図示したものといえよう。ビジネスモデル・キャンバスとこうした図解は互いに補完関係にあり、いずれもビジネスモデルに関する議論を円滑にする役割を果たすものと言える。

日本ビジネスモデル学会では今回、こうしたビジネスモデルの可視化についての知見を「ビジネスモデル・ビジュアライゼーション」として紹介する。当日は、可視化による議論のファシリテーション、新しいビジネスモデル仮説創出のトリガーとしてのビジュアル活用、デザイン思考やリーンスタートアップの文脈における役割などを議論することになる。 <https://biz-model.org/2019/06/07/es201907/>

回数	開催日	テーマ	登壇者（敬称略）
20	10月 10日	「新しい経営学」～経営学の基礎全部をビジネスモデルの視点で語ってみた	三谷 宏治 K.I.T.（金沢工業大学）虎ノ門大学院教授 著述家・講義講演者

ビジネスモデルに関する議論は様々な形で行われ、その歴史も意外と長い。

今回は、「ビジネスモデル全史」で著名な三谷宏治氏を招き、ビジネスモデルの観点から「経営学」というものを見直す機会を設けることとなりました。 <https://biz-model.org/2019/08/26/es201910/>



回数	開催日	テーマ	登壇者（敬称略）	
21	11月11日 予定	宇宙にくらす	小正 瑞季 リアルテックファンド 業務執行役、グロース マネージャー Space Food X 代表	藤島 皓介 東京工業大学 特任准教授 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授

宇宙と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。宇宙ロケット、月面基地、地球外生命体、等々、宇宙は私たちの好奇心を限りなく掻き立ててきました。

遙か遠いと思われてきた宇宙ですが、昨今の科学技術の目覚ましい発展により、宇宙は徐々に私たちの生活に関わりのあるところまで近づいています。また、宇宙開発事業は、NASA や JAXA などの公的機関によるもののみならず、SpaceX のように民間企業からの参入も相次ぎ、いよいよ宇宙を舞台にしたビジネスが本格化しています。

今回、宇宙ビジネスを紐解くにあたり、ビジネス・アカデミア双方から識者をお招きし、

- ・そもそも宇宙に人類が行こうとするモチベーションの源泉、行く目的（宇宙で何をするのか？）
- ・宇宙での様々な課題、それを解決するソリューション
- ・関連するアカデミアを支援するプラットフォーム作り など

について議論します。

宇宙という無限に広がる、誰にとっても”ワクワク”のあるフロンティアをテーマとしますので、聴衆の方々からの異なる視点・考え方・気付きを取り入れながら、双向型のディスカッションにしたいと考えています。詳細は <https://biz-model.org/2019/09/18/es201911/> ご参照を。

ご期待ください！



EDGEof